

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252006	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
アジアの遺伝学を主導する学術雑誌を 目指した取り組み		日本遺伝学会	会長 遠藤 隆
学術刊行物の名称			(略称)
Genes & Genetic Systems			GGs

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>目標達成に向けて順調に推移しているように見受けられる。海外レフェリー数の割合を増やすなど、国際性を高める努力が顕著に見られることは評価する。25 年度に投稿数が一時減少したが、その後増えていることは努力の賜物と認められる。</p> <p>ただ、応募時から報告書作成時点まで、インパクトファクターが 1 程度とあるのみで増減が不明であり、会員数がこの間減少している点や、質の向上に係る根拠が示されていない点など、気になる点があるため、今後の努力によって質・量ともに発信力を高めることを期待する。</p>	